

2017年4月3日

各 位

SBIホールディングス株式会社

SBI エナジー株式会社

日本初、メガソーラーシェアリング向けプロジェクトファイナンスによる
営農型太陽光発電所が千葉県匝瑳市にて稼働開始

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝）の100%子会社で、再生可能エネルギーを用いた発電事業等を行うSBI エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中塚 一宏、以下「SBI エナジー」）は、城南信用金庫（本社：東京都品川区、理事長：守田 正夫）、市民エネルギーちば合同会社（本社：千葉県匝瑳市、代表：東 光弘、以下「市民エネルギーちば」）、有限会社 en（本社：東京都渋谷区、代表：鈴木 幸一）、千葉エコ・エネルギー株式会社（本社：千葉県千葉市、代表：馬上 丈司、以下「千葉エコ・エネルギー」）との共同事業となる「匝瑳メガソーラーシェアリング第一発電所」の商用運転を開始し、本日落成式を執り行いましたのでお知らせします。

ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）とは、農地に支柱を立てて太陽光発電設備を設置し、営農を継続しながら太陽光発電事業を行う仕組みで、全国の耕作放棄地解消や農業振興、エネルギーの地産地消に加え、地域経済の活性化につながるモデルケースとして注目されています。

本発電所は、千葉県匝瑳市の耕作放棄地約3.2haを利用して、最大出力1メガワットの太陽光発電を行うとともに、下部農地では、地元の農業生産法人による大豆や麦など付加価値の高い農産物の有機栽培を予定しております。

想定年間発電量は約1,424MWh(20年平均)となり、一般家庭約288世帯分※1の年間電力量を賄うとともに、約718t・CO₂/kWh※2のCO₂削減に貢献します。

また、売電収入の一部を、地域の環境保全・農業振興に還元するとともに、営農支援を通じて、農産物のブランド化など地域活性化にも貢献してまいります。

今回の共同事業は、日本初となるメガソーラーシェアリング事業向けプロジェクトファイナンスとして、市民エネルギーちばによって設立されたSPC「匝瑳ソーラーシェアリング合同会社」に対して、城南信用金庫が融資を行い、SBI エナジーが社債を引き受け、有限会社 en、千葉エコ・エネルギーが出資を行うかたちで参加します。



【発電所概要】

施設名称 : 匝瑳メガソーラーシェアリング 第一発電所
設置場所 : 千葉県匝瑳市飯塚
事業者 : 匝瑳ソーラーシェアリング合同会社
代表社員 : 市民エネルギーちば合同会社
職務執行者 : 椿 茂雄
発電開始日 : 2017年3月27日

設備容量 : 1MW
想定年間発電量 : 約 1,424MWh(20年平均 / 一般家庭消費電力 約 288 世帯分)

SBI エナジーは、今後とも、再生可能エネルギーを活用した発電事業を通じて、地域資源の有効活用及び、地元関係者との協力による環境に優しいエネルギーづくりと地産地消を推進すべく、ソーラーシェアリングの普及を進めることで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

※1 太陽光発電協会 表示ガイドライン（平成 28 年度）より、一般家庭の平均年間電力消費量を 4,936kWh として試算。

※2 太陽光発電設備の CO2 削減効果：結晶系シリコン太陽電池の CO2 削減効果 504.5g-CO2/kWh をもとに試算。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI エナジー株式会社 営業企画部 03-6229-0075